

熊野古道をめぐる書巡礼

天と地

書家

柏木白光展



令和5年4月8日(土)~5月7日(日)

国指定重要文化財 **賓日館** 三重県伊勢市二見町

開館時間：午前9時~午後5時(最終入館午後4時30分) 休館日：火曜日 ※最終日は午後3時まで

入館料：大人310円・小人(小・中・高)150円

主催：二見浦・賓日館の会

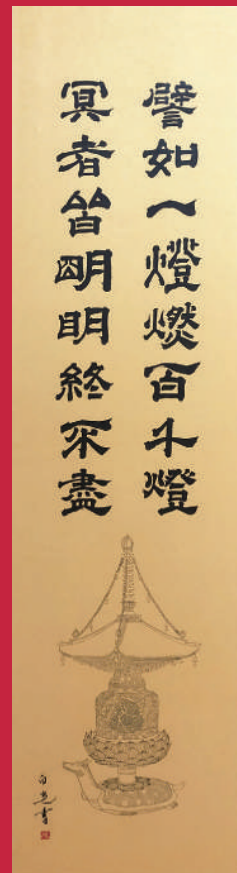
世界を舞台に活動する書家柏木白光

熊野古道の聖地での制作作品を一挙公開



天と地
YouTube

神話の時代より熱い信仰を集め続けてきた熊野の神々。あらゆる身分の人々が厳しい難路をたどり熊野の地をめざしました。書家・柏木白光は、熊野へと通じる参詣の路を歩み、人々の祈りの場である紀伊半島の聖地を書巡礼してきました。それぞれの地において、そこに宿る聖なるものと対話し、舞い降りた想いを筆と墨と紙で昇華する。12年の歳月をかけ、神社仏閣をはじめ89ヶ所の聖地において積み重ねてきた書巡礼の集大成が「天と地」です。



書家 柏木白光 かしわざびゃっこう

大分県中津市生まれ。書家であった初代・辛島寅次郎、2代・宇都宮廣の跡を継ぎ、5歳から書の道へ。毎日女流展(1988年グランプリ受賞)など多くの書道展に入賞。以後、毎日女流展審査員など歴任。1993年から1996年にかけて、サンスクリット文字(梵字)、モンゴル文字、エジプト文字、ヘブライ文字を、それぞれの文字が発祥した国に滞在しながら学んだ。

伊勢神宮、明治神宮、靖国神社などに作品が奉納されたほか、2011年、沖縄県護国神社の美智子皇后(現上皇后)陛下御歌の記念碑に揮毫。また、東日本大震災復興のプロジェクトも積極的に行い、2012年にはニュージーランド・クライストチャーチの震災と東日本大震災の復興の橋渡しも行った。音楽家とのジョイントで書を揮毫する海外公演も多く、ロシア、ハワイ、ロスアンジェルス、イスラエル、モンゴル、ネパールなど世界各地で公演し、フランスのオペラ座にも出演した。

2009年からは熊野古道をテーマにした作品制作を開始。東京、熊野、伊勢、大阪で展覧会を開催してきた。2022年11月までに、熊野古道にゆかりのある神社仏閣などの聖地87カ所を書巡礼し、作品群『天と地』を完成させた。

現在も、野山へ旅して大地のメッセージを受け、詩や墨絵を描いた書作品を創作し、新しい世界観を表現し続けている。



柏木白光
ホームページ



◆ 貴船神社



◆ 熱田神社

◆ 比叡山延暦寺・覚性律庵

◆ 東寺



◆ 城南宮



◆ 東大寺

◆ 平城京跡

◆ 唐招提寺

◆ 中宮寺

◆ 新薬師寺

◆ 春日大社

◆ 常解寺



◆ 大和神社

◆ 室生寺

◆ 住吉大社

◆ 大神神社

◆ 長谷寺



◆ 信太森神社



◆ 檀原神宮



◆ 二見興玉神社

◆ 宇治神社

◆ 伊勢神宮・内宮
(烏帽子岩)

◆ 観心寺

◆ 金峯山寺

◆ 西行庵

◆ 伊勢神宮・別宮(瀧原宮)

◆ 宇気比神社

◆ 慈尊院

◆ 丹生川上神社下社

◆ 淡島神社

◆ 根来寺

◆ 丹生都比売神社

◆ 天河大辨財天社

◆ 和歌山城

◆ 紀三井寺

◆ 伊太祁曽神社

◆ 高野山・金堂

◆ 大峯山系

◆ 前鬼・不動七重の滝

◆ 始神峠



◆ 護摩壇山

◆ 飛鳥神社



◆ 海金剛

◆ 楯ヶ崎

◆ 龍神・星神社

◆ 道成寺

◆ 発心門王子社

◆ 玉置神社

◆ 徐福の宮

◆ 高原熊野神社

◆ 伏拝王子

◆ 産田神社

◆ 切目王子社

◆ 滝尻王子社

◆ 熊野本宮大社

◆ 熊野本宮大社・大斎原

◆ 花の窟神社

◆ 紀州梅林

◆ 八上王子社

◆ 大雲取越・円座石

◆ 熊野川下り

◆ 熊野速玉大社

◆ 闘雞神社

◆ 稲葉根王子社

◆ 那智大瀧

◆ 神武天皇上陸地

◆ 白浜千疊敷

◆ 清姫の墓

◆ 青岸渡寺

◆ 補陀洛山寺

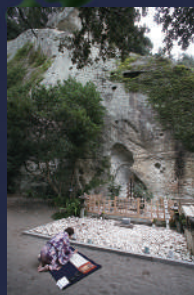


◆ 枯木灘

◆ 古座川の一枚岩

◆ 沖の黒島恋人岬

◆ 串本橋杭岩



沖縄県

韓国ソウル

◆ 波上宮

◆ 金峯山金武観音寺

◆ 奉恩寺

◆ 沖宮

◆ 末吉宮

◆ 普天間宮

◆ 識名宮

◆ 天久宮

◆ 安里八幡宮

『天と地』制作地マップ



柏木白光展開催中のイベント日程

～講話や刀剣鍛錬、茶会など『天と地』ゆかりの多彩な専門家が登場～

参加無料

- 4月 8日(土) 午後1時～午後3時
熊野速玉大社 上野顯宮司 演題「未来へ繋ぐ日本の祈り」
- 4月 9日(日) ①午前10時～午前12時 ②午後1時～午後3時
書家 柏木白光 公開書道教室 (書道具をご持参し、ご自由にご参加ください)
- 4月15日(土) 午後1時～午後3時
丹生川上神社下社 皆見元久宮司 演題「日本最古の水の神が今に伝えること」
- 4月16日(日) 午後1時～午後3時
皇風煎茶禮式 杉山悟雲 煎茶の会
- 4月22日(土) 午後1時～午後3時
那智山青岸渡寺 高木亮英住職 演題「熊野信仰と修験道」 ☆西浦康代(熊野曼荼羅絵解き) 30分
- 4月23日(日) 午後1時～午後3時
熊野筆一休園 久保田哲暁会長 演題「筆のこといろいろ」
- 4月29日(土) 午前9時～午後7時
刀剣文化研究所公開刀剣鍛錬 藤安将平刀匠 上畠宗泰刀匠
- 4月30日(日) ①午前10時～午前12時 ②午後2時～午後4時
刀剣研究家 高山雪山 演題「日本刀とは」
- 5月 3日(水) 午後1時～午後3時
仏師 松久佳遊師 演題「神さまと仏さまと」
- 5月 5日(金) 午後1時～午後3時
災害防止研究所 吉田明生代表理事 演題「『天と地』～道の向こうに見えるもの～」
- 5月 6日(土) 午後1時～午後3時
熊野本宮大社 九鬼家隆宮司 演題「甦りの熊野」 ☆谷口佳子(熊野曼荼羅絵解き) 30分
- 5月 7日(日) 午後1時～午後3時
和歌山県世界遺産センター 山西毅治所長 演題「世界の旅人を魅了する熊野」

国指定重要文化財

ひんじっかん

賓日館

三重県伊勢市二見町茶屋 566-2

JR二見浦駅より徒歩12分

賓日館は明治20年、伊勢神宮に参拝する賓客の休憩・宿泊施設として、神宮の崇敬団体・神苑会によって建設。明治24年、ご幼少時の大正天皇(明宮嘉仁親王)が滞在されたのをはじめ、歴代諸皇族、各界要人が数多く宿泊された。賓日館では、建物だけでなく庭園も含めて、当時一流の建築家による品格のある洗練されたデザイン、選び抜かれた材料やそれに応える職人たちの技など、日本の伝統建築の粋を目の当たりにすることができる。明治から大正、昭和、平成、令和へと二見町の近代史を語り伝える国指定重要文化財である。



賓日館
ホームページ